

異国の空と祖国の空一、その瞳たちに映る蒼い希望。



O.P.R.K ← → JAPAN

そらいろ  
蒼のシンフォニー  
SORAIRO NO SYMPHONY

— 日本で生まれ育った朝鮮学校生徒たちの物語 —

監督 | 朴英二

出演 | 茨城朝鮮初中高級学校 第58期生

未来共生セミナー 朝鮮学校と祖国——映画『蒼のシンフォニー』上映会

日時：2017年12月17日(日曜日) 13:30~16:30 開場 13:00 映画上映及び朴監督とのパネルディスカッション有り

場所：大阪大学豊中キャンパス・全学教育推進機構 大講義室 (<http://osku.jp/d0416>)

その他：申込不要、参加無料 お問い合わせ先：未来共生セミナー映画上映会事務局：toyono.kj@gmail.com

主催：大阪大学未来共生プログラム (<http://www.respect.osaka-u.ac.jp/>) 共催：豊能地域 Korea・Japan 交流会 後援：豊中市

制作：蒼のシンフォニー製作委員会 ©NEWSTYLE.CO.,LTD [soraironosymphony.com](http://soraironosymphony.com)



会場地図 QR コード



# 日本・韓国・朝鮮、三つの国境をまたいで 撮影されたドキュメンタリー映画。

訪朝14回、訪韓10回。南北を自由に往来する  
在日監督によるドキュメンタリー。

朝鮮学校生徒たちのありのままの姿と、朝鮮の人々の素顔を、  
朴英二の“眼”だからこそ撮りえる映像で描き出す。



## 日本には数多くの朝鮮学校が存在する

日本で生まれ育った在日コリアンの子どもたちが、民族の言葉や歴史、文化などを学んでいる。生徒たちは高校3年生になると、“祖国”である朝鮮民主主義人民共和国を訪問する。日本のメディアでは目にする事の出来ない「北朝鮮」の姿を、自身の心と体で感じ取る。



## 祖国は未だ分断されたまま

軍事境界線で、70年にもわたる南北分断の悲劇を目の当たりにする生徒たち。あちら側では外国人観光客がもの珍しそうに、こちら側にカメラを向けている。“北”から“南”を眺める「朝鮮」籍の彼女は、“故郷”である韓国の地に足を踏み入れることは許されない。



## 在日朝鮮人として生きる選択

街を歩く生徒たちを見て、朝鮮人だと気付く人は誰もいない。見た目も話す言葉も日本人と全く変わらない。朝鮮人であるためにヘイトスピーチの脅威にさらされ、朝鮮学校に通うことで、高校無償化からの除外という差別にさらされている。人々の「善意」が口々に言う。「どうして日本人にならないの?」

## 生徒たちが奏でる交響

国や社会から存在を否定され続けてきた生徒たち。そんな逆境の中でも、堂々と前を向き、しっかりと夢を語る。明るく笑い、歌う。“蒼”は青春の、けれども、くすみがかったこの空の色。だけど一人一人が、きっと大きく一つにつなげていくであろう、輝く蒼天の色。響きわたる、愛と希望のシンフォニー。



釜山朝鮮初中高級学校  
1953年4月15日創立。初・中・高課程(小中学に相当)が併設されている。高課程の学区は東北6県、新潟、栃木、群馬、茨城で、10県・6校(東北6県には宮城と福島に2校)の日本最大学区(本州の45%)であり、高級部生の大半は寄宿舎で生活し学校に通う。2014年度生徒数70名。

監督 朴英二 出演 釜山朝鮮初中高級学校 第56期生 プロデューサー アオイ 制作 朴明勲、許鶴浩、李美日、李慶岡  
主題歌「そらいろ」全録仕 音楽 高野聖、全秀暉、李慶岡、ウリナラ 撮影 朴英二、全光光、李忠宇  
2016年 日本 95min 製作 蒼のシンフォニー製作委員会、NEWSTYLE soraironosymphony.com

蒼のシンフォニー  
SORAIRONOSYMPHONY

### 本企画について

今日の日本社会において、朝鮮学校とその学校に通う児童・生徒らは厳しい差別に晒されています。高校無償化制度から除外され、公的な補助金が差し止められるだけでなく、これを司法が追認するといった状況があります。さらには、平時より朝鮮民主主義人民共和国(以下、共和国)の話題がメディアでネガティブに取り上げ続けられています。今日の日朝関係に関して多様な議論があることを認めつつも、かれ・かのじよらの「祖国」を日々敵視する現状があり、私たちはこれを座視し続けています。

歴史を振り返ったとき、朝鮮半島の分断と朝鮮学校の設立は、かれ・かのじよらの問題というだけでなく、日本社会との密接な関わりを有するものです。にもかかわらず、私たちは共和国や朝鮮学校の実情について、あまりにも無知なままです。そこで、本企画では、共和国に修学旅行で渡航する朝鮮学校の生徒を追いかけた「蒼(そらいろ)のシンフォニー」を上映します。本映画は朝鮮学校の生徒らが共和国を訪問するドキュメンタリーであるとともに、「朝鮮半島の分断」だけでなく「朝鮮半島と日本の分断」について考えることができる映画です。併せて、本上映会では、朴監督や実際に渡航された方々をお迎えし、ディスカッションの場を設けます。本上映会を通じて、日本社会と朝鮮学校の関係を再考するとともに、共和国との関係や現在のメディア状況についてみなさんと考えたいと思います。